

しまも の とし 生き さがし

今年もたくさん
見つかりました！

アブラゼミ
目白五丁目

ニュースレター 令和6年号
編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課

調査期間：
令和6年6月1日～9月30日



ご協力
ありがとうございます！

みんなの
フォト
コーナー



ナミアゲハ
千川



オオスカシバ幼虫



キボシカミキリ
駒込三丁目



シヨウリョウバッタ
雑司が谷霊園



ヤマトシジミ
目白五丁目



シオカヲンボ



ツマグロヒヨウモン
高田一丁目



アオスジアゲハ
南大塚二丁目



セスジスズメ
要町三丁目

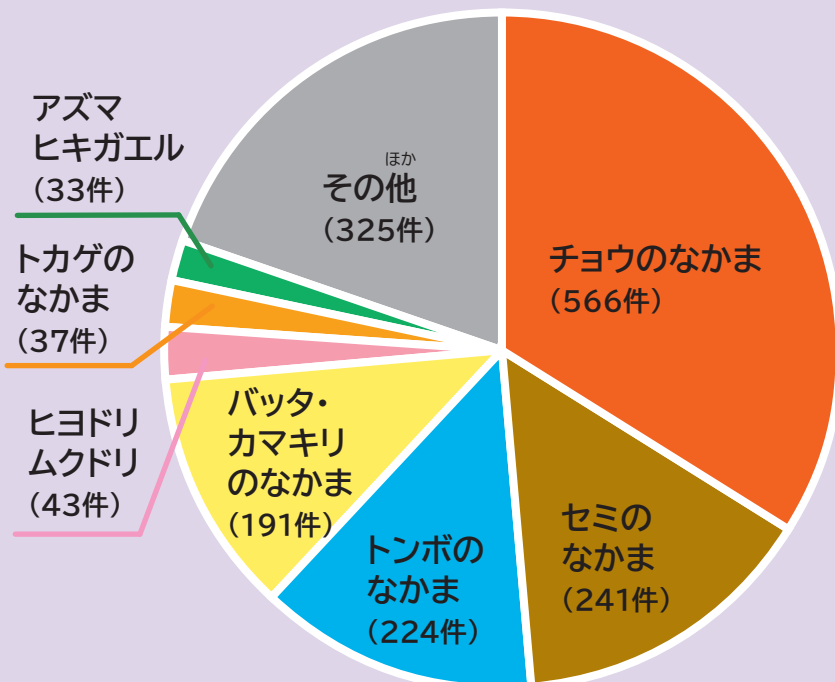


ナミアゲハ幼虫
北大塚二丁目



アズマヒキガエル
学習院大学

ちょう さ けっ か 調 査 結 果



※区外、調査期間外の報告件数を含まない。

総報告件数:1,701件

(うち区外・調査期間外:41件)

さがしてほしい生きものの報告件数:1,335件
のべ参加人数:794人

見つけた生きものランキング



ナミアゲハ
(138件)



チョウは日々、自宅にあるレモンの木に來ます。(40代)



シオカラトンボ
(118件)



歩いている時、生き物を探すのが楽しくなりました。(50代)



アブラゼミ
(98件)



せみをてでつかまえられてたのしかった。(幼稚園児)

区内のめずらしい生きもの

・ハラビロトンボ

シオカラトンボに似た、お腹が太いトンボです。ヤゴがすむ池が少なくなっています。

・アオダイショウ

今年は4件も報告がありました。学習院大学や雑司が谷霊園で見つかりました。



・イソヒヨドリ

海岸にすむ鳥ですが、最近は内陸でも見られるようになってきました。

こんな発見ありました！

じょうずにかくれているなあとおもった。あぶらぜみやばったは「き」や「くさ」とおなじいりでみつけにくかった。(幼稚園児)



どこにいるかわかるかな？

クヌギの木からあふれる樹液のにおいに気づき、小学校内にある自然園に入ってみました。

(中略)ふだん子どもだけでは自由に踏み入ることができませんが、夏休み期間中の猛暑とも重なり校庭にも出られなかったのが、こんな「すごい場所」があることを伝えておきたいです。(60代)



シロテンハナムグリが樹液にたくさんあつまっていました！

ちょう さ けっ か 調 査 結 果 より ～カマキリ編～

カマキリのなかまでは、今年もハラビロカマキリが多く見つかりました。公園や住宅地などの樹の上でうまく生活しているようです。



団体では、高松第二保育園、池袋いづみ幼稚園、西巣鴨第三保育園、南長崎はらっぱ公園を育てる会のみなさんから報告をいただきました。

たくさんのご参加、ありがとうございました！

としまで見つけた 生きものマップ

「さがしてほしい生きもの」が見つかった
おもな場所を紹介します。



①ツマグロヒョウモン
(43件)

今年は報告数が少なめなもの、区内全域の公園や庭などで見られました。



②モンシロチョウ
(83件)

公園だけでなく、学校や園庭でもよく見られたようです。



③キタキチョウ(28件)

目白庭園や南長崎はらっぱ公園などで見つかりました。



④ギンヤンマ(14件)

小学校のプールやビオトープの近くで飛んでいました。



⑤ヒヨドリ(24件)

雑司ヶ谷霊園や学習院大学などの、樹林がある緑地を訪れていました。



⑥ニホンヤモリ(35件)

私たちに身近なトカゲのなかです。自宅で見つけたという報告が多くありました。



参加者のみなさんからの感想

すてきなイラストも
たくさんいただきました！

たくさんの生きものが我が家の小さな庭に遊びにきてくれています。今年、はじめて、ハクセキレイがやってきて感激でした。(60代)

「生きものさがし」は大好きです♡この夏は、とても暑くて、生き物も大変だったと思います。私の推しはカミキリムシです。長い触覚がカッコいい！！(50代)



(西巣鴨第三保育園の皆さん)



(小学生)

おおみずあおがきれいだった。(小学生)

楽しかった。ショウリョウバッタが可愛かった。(保育園児)

秋に鳴く虫は、ほぼスズムシかと思ってました。よくきくと、リーンリーンの他に、ジージーなど、色々な虫がいることに気づきました。(60代)



環境さえあれば生き物は力強く生きてくれると思った。今ある環境を残したまま共存していく必要があると感じた。(高校生)

子どもと一緒に見つけました。普段はせみの鳴き方を気にしたことがありませんでしたが、よくきくと色々な鳴き方をしていて、楽しかったです。(保護者)



(高松第二保育園の皆さん)

今年は夏の猛暑で庭の手入れが全くできず、草が生え放題。その「お陰」か？クビキリギスが初お目見えしました。小さな庭ですがこれからも生きものと共生できるような環境を守っていかれたらと思います。(60代)

としん 都心のセミ事情

都心を代表するセミといえば、アブラゼミとミンミンゼミ。生きものさがしでは、アブラゼミの報告が多い年もあれば、ミンミンゼミのほうが多い年もあります。調査を始めた2015年以降の報告をまとめたところ、アブラゼミ584件、ミンミンゼミ507件と、アブラゼミが少し多いながらも同じくらいの件数でした。

この2種はすみ環境が少し違います。アブラゼミは住宅地のように木が点在する開けた場所、ミンミンゼミはアブラゼミよりまとまった樹林がある場所を好みます。

抜け殻を集めた別の調査(※)では、首都圏ではアブラゼミが約6割、ミンミンゼミは約1割、残り約3割がニイニゼミなど他のセミでした。調査方法が異なるので比較はできませんが、豊島区内ではミンミンゼミがわりと健闘しているようです。

さまざまな環境をつくったり守ったりすることが、いろいろな種類のセミをまもることにつながります。これからもセミの動向に注目してみてください。

セミのイラストや写真も
たくさん寄せられました



※「セミの抜け殻しらべ 2019年度報告書」セミの抜け殻しらべ市民ネット, 2020年

としま生きものさがし について

なぜ生きものをさがすの？

地球上では、たくさんの生きものがいろいろな場所で暮らし互いに支え合って生きています。「としま生きものさがし」は、皆さん自身で調べてもらうことで、身近な生きものへの理解や関心を深め、地域の生物多様性の保全につなげることを目指しています。

結果はどうやって見るの？

ニュースレターや区のホームページ（生物多様性のページ）でお知らせします。これまでのニュースレターも区のホームページからダウンロードできます。環境省運営のWebサイト「いきものログ」にも情報を入力していますので、区内にどんな生きものがいるか調べることができます。

どうやって参加するの？

令和7年度の参加方法は、区の広報やホームページでお知らせします。（令和7年6月を予定）

エスディー・ジーズ SDGsって？

エスディー・ジーズ SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」という意味です。地球上に生きる人々が安心して自分らしく、将来も今と同じような地球環境で暮らせるように、世界が直面している様々な課題を、協力しながら2030年までに解決することを目指しています。

「としま生きものさがし」でいろいろな生きものをさがしてもらうことは、15番目の目標「陸の豊かさも守ろう」につながっています。生きものたちが互いに支えあって生きている豊かな環境があるからこそ、私たちの生活もうまくなりたっています。

皆さんも下の17の目標の中から、自分にできることは何か考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

